

令和6年4月17日

保護者各位

古河白梅幼稚園
園長 菅 久子

熱中症や熱中症に関連することについて

保護者の皆様には日頃より多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。4月24日（水）から令和6年度の熱中症警戒アラートおよび環境省熱中症予防情報サイトによる情報提供期間が始まるということで、当園における熱中症や熱中症に関連することをお知らせ致します。

※熱中症…高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態。

※症状…めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う、返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

①水分補給について

- ・のどの渇きを子どもたちが感じていなくても、こまめに水分補給をします。
- ・熱中症を心配してポカリスエットやアクエリアスなどを水筒に入れて持参したい方もいらっしゃるかと思いますが、幼稚園では水筒の中身でうがいなどをすることもありますので、引き続き中身はお茶類か水をお願いします。
- ・水筒の中身がなくなったら、幼稚園内に設置してある逆浸透膜浄水器で浄水された安全でおいしい水を入れます。

②屋外での活動について

- ・古河市のWBGT値が25以上の場合（環境省やtenki.jpを参考にしています。）は、外遊びをできなかったり、保育内容を屋外のものから屋内のものに変更することがあります。また、帰りの外遊びをしない日もあります。その際はメールで連絡致します。

※WBGT値（暑さ指数）…熱中症の危険度は判断する環境条件の指標。人体と外気との熱のやり取り（熱収支）に着目し、熱収支に与える影響の大きい気温、湿度、日射・輻射など周辺の熱環境、風（気流）の要素を取り入れた指標で、単位は、気温と同じ℃を用いる。

③保育室ではエアコンや扇風機を使い、換気しながら室温を下げます。

よろしく願いいたします。